豊家へ市郎出羽守殿市蔵へとあり元和
八年言上家没後の附紙より市橋使と
して石川八右衛門殿伊丹新之助殿曽根源
蔵殿高木彦右衛門殿を為勘案へ殿坪井
金左衛門殿水野河内殿上野
必殿へ下元和八年より翌九年迄知行
元御会庫殿へ下知の内を以て仕付
同二万石宮城但馬守殿へ下矢部へ仕置
所仕付同一万石仁加保会庫殿へ下

[illegible]へ屋敷を築きの会庫殿の先きなり 同七
万石賀仁加保を会庫殿へ下同五万石宗
上野必殿市橋伊予守大沢左衛門同
百五十八石九斗五合上言仁加保会庫
殿へ市郎七左衛門殿へ下八百五十八
石九斗五合寛永五辰年仁加保
立言殿死去后言る同七百石下百上同八
未年会庫殿子息長人殿死去一百石下
百上同十二癸亥年本城左近殿死去三千石
下百上同十巳丑年仁加保同猪殿会庫殿